



TITLE:

表紙・投稿規定・人のうごき・プレプリント・掲示板・編集後記・目次・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・投稿規定・人のうごき・プレプリント・掲示板・編集後記・目次・裏表紙ほか. 物性研究 1969, 11(6)

ISSUE DATE:

1969-03-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/86821>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可  
昭和44年3月20日発行 (毎月1回20日発行)  
物 性 研 究 第 11 卷 第 6 号

vol. 11 no. 6

# 物性研究

1969 | 3

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、情報などです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行いません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにして下さい。

### 投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するため原稿は極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は400字詰原稿用紙を使用して下さい。
3. 数式、記号の書き方は **Progress**、**Journal** の投稿規定に準じ、ミスプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。  
上ツキ、下ツキは特に紛わしいもののみを指定して下さい。  
英字の大、花文字、ギリシャの指定を忘れないように、o と a と 0 (ゼロ)、u と n と rr、c と e、l (エル) と 1 (イチ)、x と × (カケル)、u と v 等が一番間違いやすい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図の縮尺、拡大は致しません。一頁以内に入らない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけさけるようにして下さい。
8. 別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を10部単位で申込んで下さい。別紙代は下記方式により、**現金で納入**していただきます。

(郵券による受付はいたしません。)

p : 物研出来上り頁数

x : 別刷所要部数

a : 別刷一頁の代金 1円

b : 製本代(別刷一部につき) 10円

別刷代 = (a p + b) x + 送料

別刷代金は別刷を受取ってから、1ヶ月以内に納めて下さい。

それより遅れた場合には遅滞追徴金を請求されることがあります  
すから、御注意下さい。

9. 原稿締切日は毎月20日で原則として次月発行誌に掲載されます。

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、情報などです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行いません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにして下さい。

### 投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するため原稿は極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は400字詰原稿用紙を使用して下さい。
3. 数式、記号の書き方は **Progress**、**Journal** の投稿規定に準じ、ミスプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。  
上ツキ、下ツキは特に紛わしいもののみを指定して下さい。  
英字の大、花文字、ギリシャの指定を忘れないように、o と a と 0 (ゼロ)、u と n と rr、c と e、l (エル) と 1 (イチ)、x と × (カケル)、u と v 等が一番間違いやすい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図の縮尺、拡大は致しません。一頁以内に入らない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけさけるようにして下さい。
8. 別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を10部単位で申込んで下さい。別紙代は下記方式により、**現金で納入**していただきます。

(郵券による受付はいたしません。)

p : 物研出来上り頁数

x : 別刷所要部数

a : 別刷一頁の代金 1円

b : 製本代(別刷一部につき) 10円

別刷代 = (a p + b) x + 送料

別刷代金は別刷を受取ってから、1ヶ月以内に納めて下さい。

それより遅れた場合には遅滞追徴金を請求されることがあります  
すから、御注意下さい。

9. 原稿締切日は毎月20日で原則として次月発行誌に掲載されます。

## 人のうごき

九州大学理学部川崎恭治助教授は2月1日より、1年半の予定で下記へ海外出張中。

Department of Chemistry and Chemical Engineering,  
University of Illinois, Urbana,  
Illinois, 61801, USA

## 北大よりのニュース

1968年度M.C論文(物性理論関係)の題目

- 1個の不純物を含む格子における諸問題 藤田武彦
- 1次元結晶不整の量子化 小野正利
- Insulating Crystalにおける Effective Mass Equation 貞方一也

## 人のうごき

九州大学理学部川崎恭治助教授は2月1日より、1年半の予定で下記へ海外出張中。

Department of Chemistry and Chemical Engineering,  
University of Illinois, Urbana,  
Illinois, 61801, USA

## 北大よりのニュース

1968年度M.C論文(物性理論関係)の題目

- 1個の不純物を含む格子における諸問題 藤田武彦
- 1次元結晶不整の量子化 小野正利
- Insulating Crystalにおける Effective Mass Equation 貞方一也

## プレプリント案内

[東北大, 工, 応物, 桂]

- Rigorous Inequalities for Critical Point Correlation Exponents. (Michael E. Fisher)
- Heat Capacity Singularity for a Ferromagnet. (R.B.Griffiths)
- Renormalization of the Linked Cluster Expansion. (M.Wortis, D.Jasnow and M.A.Moore)
- The Effects of Spin-Wave Interactions on the zero-Temperature Excitations of the Heisenberg Antiferromagnet. (E.H.Takken)
- An Analytic Expression for the Antiferromagnetic Ground State. (E.H.Takken)
- High Temperature Series Expansion for the Partition Function and Specific Heat of the XY Model on a Face Cubic Lattice. (D.D.Betts, C.J.Elliott and M.H.Lee)
- Substitutional Diffusion in an Ordered System. (R.Kikuchi and H.Sato)

[東北大, 工, 応理, 守田]

- Theory of Surface Scattering and Detection of Surface Phonons. (N.Cabrera, V.Celli and R.Manson)
- Angular Momentum Projection Methods 1-Theory. (J.Raynal)
- Substitutional Diffusion in an Ordered System. (R.Kituchi and H.Sato)

[東大, 久保研]

- Superconductivity in a Molecular Field  
(S. Takada and T. Izuyama)
- Divergences in Non-Equilibrium Statistical Mechanics  
and Ehrenfest's Wind-Tree Model  
(E. H. Hauge and E. G. D. Cohen)
- On the Eigenvalues of Orbital Angular Momentum  
(Masuo Suzuki)
- Mobility of the Electron Bubble in Superfluid Helium  
(G. Baym, R. G. Barrera, and C. J. Pethick)
- A Green function approach to the paramagnetic phase  
of a Heisenberg ferromagnet  
(R. H. Knapp, Jr. and D. ter Haar)
- Statistical Mechanics of Stellar Systems  
(D. ter Haar)
- Some Contributions to Polaron Theory  
(A. E. K. Dowson and D. ter Haar)
- On the History of Photon Statistics  
(D. ter Haar)
- Phase Transitions (D. ter Haar)
- Zone-Boundary Phonon Instability in Cubic  $\text{LaAlO}_3$   
(J. D. Axe, G. Shirane and K. A. Müller)
- Exchange Enhancement of Nuclear Spin-Lattice Relaxa-  
tion in Antiferromagnets (A. Brooks Harris)
- Exchange Enhancement of Nuclear Spin-Lattice  
Relaxation (A. Brooks Harris)
- Transport Coefficients of van der Waals Fluids and  
Fluid Mixtures (Kyozi Kawasaki)
- The Electrodynamics and Statistical Mechanics of  
Linear Plasma Response Functions



プレプリント案内

(K.I. Golden and G. Kalman)

- Spectrum of Light Doubly Scattered by an Opalescent Fluid (R.A. Ferrell)

- Dynamical Scaling Theory of the Lambda Transition in Liquid Helium (R.A. Ferrell)

- Field Theory of Phase Transitions (R.A. Ferrell)

- Study of a Low-Frequency Maser Amplifier

(Henri Pénin)

[九州大. 理, 物理, 物性理論研 (特に都築研の分)]

- Motion of the Vortex Lattice in a Dirty Type II Superconductor (Kazumi MAKI)

- The Effect of Bulk Motion on the Synchrotron Radiation Rate (Peter D. Noerdlinger)

- Growth Rate of the Relativistic Firehose Instability (Peter D. Noerdlinger and Alexander Ko-Min Yui)

- Universal Cosmic Rays and Harrison's Inhomogeneity Postulate (Peter D. Noerdlinger)

- Superconductivity in a Molecular Field

(Satoshi TAKADA and Takeo IZUYAMA)

- Time Dependent Ginzburg-Landau Equations for Strong Coupling Superconductors

(Kazumi MAKI, peter Fulde)

- Persistence and Amalgamation Types in Optical Spectra of Mixed Crystals (Hirotugu MATSUDA and Takashi MIYATA)

- Computer Simulation of Order-Disorder Phenomena

(Naofumi OGITA, Akira UEDA, Takeo

MATSUBARA, Hirotugu MATSUDA and Fumiko YONEZAWA)

- Introduction to the General Theory of Thermodynamic Fluctuations (Ferrell R.A.)
- Low Frequency Intergalactic Radio Absorption: Theory and an Experimental Upper Limit  
(Noerdlinger P.D.)
- Phase Separation in Rotating Helium  
(Tetsuo OHMI and Tunemaru USUI and Toshihiko TSUNETO)

## 「物性研究」5周年記念懸賞論文募集

「物性研究」編集部

御承知の通り、編集部は昨年「物性研究」創刊5周年記念事業として物性研究主催の研究会開催、その他の試案を提出して皆様方の御意見を求めて参りました。現在迄の処これに対してあまり積極的な御意見は寄せられておりませんが、一つ懸賞論文を募集してはとの提案がありました。編集部で検討の結果、これを取上げ以下のような形で実行に移したいと考えております。

省りみますと物性物理学に関する研究発表論文は年を追って増加してはおりますが、ややもすれば狭い領域内のみでの職人的な仕事に陥りがちになっているようです。「物性研究」はこうした領域間の障壁を除き、活潑な研究の推進を計るため、たとえ未完成でもよいから重要な問題、他の分野との関連等を提起し示唆するような論文の投稿を求めて参りましたが、現状は必ずしもうまく行っているとは申せません。

一方、大学の自治、民主化を廻る運動は日毎に激化し、研究者は好むと好まざるに拘らず、相当の時間と精力をこの問題につぎ込まざるを得ない昨今となっております。

この時点に立ってわれわれは論文のテーマとして

「物性物理学をどのように発展させるか。」

を選ぶことにしたいと思います。ここで「物性物理学の発展」と云う題は、広い意味に解釈して頂きたいと思います。従って論文の内容、中心テーマとしてはある分野の現状分析と将来像を中心とするような純学問的なものでもよいし、例えば研究体制、教育のあり方等、大学の自治と民主化につながりをもつような体制論的なものまで種々あってよいと思います。要は現在の「物性研究」の読者に強くアピールするような論文が望ましいと考えます。

投稿された論文は原則として順次速やかに誌上に掲載します。編集部としては論争を引き起すような内容のものも大いに期待しており、掲載された論文に対する反論が出て、それがまた、懸賞論文の一つとなればよいと考えています。是非活潑に御応募下さい。個人論文に限らず、グループでの討論等でも結構で

す。論文の長さは一応400字詰20枚程度とします。

記

- (1) 募集期間： 1969.3.1 ~ 1969.8.20
- (2) 選考は京都及び各地編集員で行ないます。
- (3) 賞金： 最高一編につき5万円，合計10万円まで。
- (4) 適当な論文がない場合は募集期間を延長します。

## 編集後記

「編集長は公私共に忙しいので」ということで、「物性研究」編集長の重職(?)から解放された途端に、世の中がぱっと明かるくなったような気がした。こまごました仕事をしなくてよくなったし、何れも一編集員として自由な立場でものが言える。

ひまになったぶんだけ、他の雑誌を読む機会が増えた。学会誌を読んでいると、面白い編集後記に行き当たった。今年の二月号で——“秋の学会で行なわれた、会誌についての話し合いの会、宣伝不足や日取りの悪さもあったのですが、集ったのは編集委員ばかりというのも、少し淋しい気がしました。なにやらマスコミ論調めきますが、一般(?)会員の立ち上りを期待したい感じです。”——とある。アハハと笑い出したくなった。いずこも同じである。「物性研究創刊五周年記念事業」について、アイディアを公募したが、読者からはただの一通の手紙も来ず、全くの無反応に終わった。学会のときに、インフォーマル・ミーティングとして「物性研究読者の会」をもとうなどという意見の出たこともこれまで何度かあったが、それで人を集めようというのが、如何に淡い望みであったかがよくわかった。山のような情報の波におしつぶされそうになりながら、ごまんとある雑誌を、すみからすみまで読んで、その編集方針に口をさしはさむなどということは、今日の研究者にとっては不可能事なのかもしれない。このぶんだと、五周年記念事業として募集した懸賞論文も、応募があるかどうか怪しいものである。

大学紛争は全国に及んだようだ。対岸の火事ではなくなって来た時、紛争どこ吹く風とひとり物理学に専念するか、改革・民主化とやらに一枚加わり、自分は何かをやっているという幻想を抱くか、あるいは孤立しょうが糾弾されようが生活をかけて主義・主張を守りぬくか——人さまざまであろう。

「物性研究」に「ひろば」という欄がある。読者からの、有色・無色のあらゆる発言大歓迎。どこやらの雑誌のように、政治的発言はどうも、とは言わない。来るものは全て拒まずであることをお忘れなく(F・Y)

物 性 研 究

第 11 卷第 6 号  
1969 年 3 月 20 日 発行

発行人 松 田 博 嗣  
京 都 市 左 京 区 北 白 川  
京都大学基礎物理学研究所  
印刷所 昭 和 堂 印 刷 所  
京 都 市 上 京 区 上 長 者 町 通 室 町 西 入  
発行所 物性研究刊行会  
京 都 市 左 京 区 岡 崎 徳 成 町 1 1  
有限会社 双 美 社 内

## 購読規定

### 個人購読

1. 会費 当会の会費は前納制をとっています。したがって3月末までになるだけ(1年間分会費を御支払い下さい。なお新規購読の場合は下記の会費以外に入会金として、100円お支払い下さい。

#### ※ 1年間の会費

1st volume 960円

2nd volume 960円

計 1,920円

(1年分まとめてお支払いが困難の向きは1 volume 分ずつでも結構です。)

2. 支払いの際の注意：なるべく振替用紙を御利用の上御納入下さい。  
なお通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。
3. 雑誌購読者以外の代理人が購読料を送金される場合、必ず購読者本人の名前を明記して下さい。
4. 誌代の支払遅滞の場合：当会の原則としては、正当な理由なく2 Vol. 以上の誌代を滞納された場合には、送本を停止することになっていきますので御留意下さい。
5. 一括送本を受ける場合：個人購読中に大学等で一括配布を受ける様になった場合は、必ず「個人購読中止、一括配布希望」の通知をして下さい。逆の場合も同様です。
6. 送本先変更の場合：住所、勤務先の変更等送本先が変わった場合は、必ず送本先変更届を提出して下さい。

### 学校、研究所等機関購読

1. 会費：学校・研究所等での購読及び個人であっても公費払いのときは機関会員とみなし、代金は、1 Vol. 1,800円です。この場合、入会金は不要です。学校、研究所の会費の支払いは後払いでも結構です。しかし購読申込みをされる時に支払いに必要な請求見積、納品書等何通必要なのかをお知らせ下さい。なお、当会の請求書類では支払いができない様でしたら、貴校貴研究機関の請求書類を送付して下さい。
2. 送本中止の場合の連絡：発行途上にある volume の購読途中中止は認められません。購読中止される場合には、1ヶ月前ぐらいに中止時期を明記して「購読中止届」を送付して下さい。

## 物 性 研 究 11—6 (3月号) 目 次

○ 自発体積磁歪と圧縮率.....	勝木 渥、寺尾 洸 ...407
○ インバー合金の自発磁化の圧力変化.....	寺尾 洸、勝木 渥 ...410
○ Solar Planetary Relationships Ⅲ.....	清水幹夫 ...417
○ Suhl-Kondo 理論についての Comment .....	川村 清 ...433
○ ODLRO についてのノート .....	恒藤敏彦 ...439
○ 共同利用研究所と「地方大学」.....	勝木 渥 ...446
○ 「人のうごき」「北大よりのニュース」.....	455
プレプリント案内 .....	456
○ 「物性研究」創刊5周年記念事業のお知らせ .....	460
編集後記 .....	462



## 物 性 研 究 11—6 (3月号) 目 次

○ 自発体積磁歪と圧縮率.....	勝木 渥、寺尾 洸 ...407
○ インバー合金の自発磁化の圧力変化.....	寺尾 洸、勝木 渥 ...410
○ Solar Planetary Relationships Ⅲ.....	清水幹夫 ...417
○ Suhl-Kondo 理論についての Comment .....	川村 清 ...433
○ ODLRO についてのノート .....	恒藤敏彦 ...439
○ 共同利用研究所と「地方大学」.....	勝木 渥 ...446
○ 「人のうごき」「北大よりのニュース」.....	455
プレプリント案内 .....	456
○ 「物性研究」創刊5周年記念事業のお知らせ .....	460
編集後記 .....	462